SHIBETSU ROTARY CLUB DISTRICT 2500 JAPAN

士別ロータリークラブ会報

創立 1960･3･24 RI第 2500 地区

Vol. 08 No. 2825

2023－2024年度国際ロータリーのテーマ
2023-2024年度ＲＩ会長 ゴードンR.マッキナリー

2023-2024年度ＲＩ第2500地区テーマ
ガバナー鶴見誠一郎
今こそ変わる勇気を！さぁ、一歩前へ

2023－2024年度士別ロータリ-スローガン
【勇気ある行動で友情と奉仕の実践へ】
～ Let's bigin ～

世界に希望を生み出そう

■会　長／菊地　昭通
■副会長／山下　卓己
■幹　事／福島　和秀
■例会場／士別グランドホテル
■例会日／毎週月曜日　12:10～13:00

２500地区ホームページ　http://rid2500.jp/
士別ＲＣ　http://www.douhoku.jp/sibeturc/
ＲＩホームページ　https://www.rotary.org

第2914回例会　2023年　9月　4日(月)

今日のプログラム　・普通例会・誕生祝い・理事会

前回（8月28日）の記録　・普通例会

司　　会　志村孝幸　会場監督
斉　　唱　我らの生業
本日の出席　会員 43人中　出席者 27人　出席率 65.12%
本日の欠席　但木行久・田中道也・大橋直幸・片庭隆暁・川東久聖・北村浩史・國森和麿
谷温恵・中山義隆・奈良康弘・深尾幸夫・法邑和浩・前田孝幸・山崎貴弘行
近藤峯世・大野裕一郎
ビジター
ゲスト
ニコニコBOX　北村浩史会員（誕生祝い）
田中道也会員（誕生祝い）
谷村一文会員（夏の甲子園慶応高校優勝記念・ビート祭り終了御礼）
☆☆☆☆☆☆　累計　112,000円

例会予定

■９月例会日［基本教育と識字率向上月間］
- ● 9月 4日(月)　普通例会
- ● 9月11日(月)　普通例会
- ● 9月18日(月)　休会（敬老の日）
- ● 9月25日(月)　夜間例会

■１０月例会日［経済と地域社会の発展・米山月間］
- ● 10月 2日(月)　普通例会・理事会
- ● 10月 9日(月)　休会（スポーツの日）
- ● 10月16日(月)　普通例会
- ● 10月23日(月)　普通例会
- ● 10月30日(月)　夜間例会

■会務報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・菊地　昭通会長

今年の夏は、非常に暑く湿度が高く本州並みの気候です。
気象庁のアメダスのデーターで士別地方の3年間の8月18日から27日までの10日間の気温の平均を調べると一昨年は、最高が26．1度・最低は15．7度、昨年は最高が24．6度・最低は14．3度、今年は最高が32．5度・最低は22．3度であります。
いかに今年は近年にない体験したことがない暑い夏であり道内各地、記録づくしの日が続いています。
これも気象変動なのかなと思います。今後の農作物の影響が懸念されます。
8/23は、第105回全国高等学校野球選手権の決勝戦でした。結果は神奈川県代表の慶応高校が8対2で宮城県代表史上7校目の夏連覇を目指していた仙台育英高校を破り、なんと107年ぶり2度目の優勝を致しました。
慶応高校は、文武両道を目指し自由な髪型やENJOY BASEBALLなど野球を楽しくPLAYする。
これまでの常識を覆しこの夏、高校野球に新しい歴史を刻みました。
監督の森林氏は、生徒には「 任せる、信じ、待ち、許す 」をモットーに、「自ら考える力」を生徒たちに教え込ませました。今後の健闘を称えたいです。
敗れは致しましたが仙台育英の2年連続決勝は、中々大変のことだと思いますし、駒大苫小牧高校の3年連続の決勝というのは今後出てこないと思います。
さて、今月は会員増強月間です。
我々は、社会に出れば出会うのは仕事の関係者ばかりで、なかなか仕事以外の場で友を見つけるのは難しくなるものです。
けれども、ロータリークラブに入会すれば職業の枠を超えるばかりか、年齢も性別も国籍までも超えて、出会いのチャンスが待っています。
会員を増やすことは、まだ見ぬ友との出会いのチャンスを増やすことにもつながります。そして、たくさんの人との出会い、いろいろな出来事に出会って自身の人間形成が変化し成長していくと思います。
一人でも多くの仲間を作り、互いに尊敬し共鳴できるような生き方を過ごしたいものです。

■幹事報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 福島　和秀 幹事

1. 次回、9月4日例会終了後、理事会を開催しますので役員理事の皆様は参加いただきますよう、お願い申し上げます。

2. 美深ロータリーより会報が届いております。閲覧ファイルに閉じておきますのでご確認ください。

Diversity Equ多様性、公平さ、インクルージョンに関する方針

ロータリーは、すべての人と尊厳と尊重をもって接し、あらゆる人の声に耳が傾けられるようにし、親睦、奉仕、リーダーシップの公平な機会を設けることに力を注いでいます。
ロータリーの会員は、ロータリーが多様で、公平で、インクルーシブな組織となることを望み、またそうあるべきであると考えています。ロータリーでの体験は国によって異なるものの、多様性、公平さ、インクルージョンは世界的に重要な問題です。
私たちは、多様性、公平さ、インクルージョンの原則を大切にしています。多様で、公平で、インクルーシブな組織となることで、ロータリーでの会員の体験がより充実したものとなり、より有意義で効果的な奉仕プロジェクトの実施が可能となり、ロータリーに参加したいと望む人たちにとって魅力のある開放的・歓迎的な環境を築くことにつながります。多様性・公平さ・インクルージョン（DEI）タスクフォースの活動を通じ、あらゆる活動においてこの原則に従うために取り組んでいます。
ロータリーにおけるDEIの理解
2021年、タスクフォースは、ロータリーで初となる「多様性・公平さ・インクルージョンに関する調査」を実施し、世界31,000人の会員から集めた回答を基にDEIのフレームワークを作成しました。
現在、2回目のDEI調査を実施しています。調査結果は、既存のフレームワークを強化し、DEIに関するロータリーの取り組みを前進させる一助となります。

（マイロータリー引用）